



学校だより

4月号

横浜市立桜台小学校

平成30年4月5日 発行

しづごころなく……春の訪れ

校長 西尾琢郎

いよいよ、平成30年度のスタートです。昨年末から激しい寒暖を繰り返した天候も、例年になく早い桜の開花が本格的な春を告げることで、一層印象強いものとなりました。「異常気象」と言われることも多い昨今ですが、いよいよ地球規模で「平年並み」という言葉が意味をなさなくなっている感があります。変化こそが常態だという時代が、今、やってきているのかもしれませんが、変化といえば、私たちの社会もまた、大きな変化の時代を迎えています。

来春には今上天皇が退位され、その秋には、新天皇の即位礼が行われることが決まりました。改元や翌2020年の東京オリンピック開催とあわせて、日本の社会全体が大きな変化を実感することになるでしょう。しかしより大きな変化は、こうした目に見えるできごととは違うレベルで、急速に進んでいます。

緊張の高まる国際関係の変化、少子高齢化や科学技術の発達に伴う社会・経済構造の変化、情報通信技術の発達によるメディア環境の変化など、いずれをとっても、私たち大人のこれまでの体験を超えるような大きな変化が、向こう10年あまりの間に訪れることは、もはや疑いようがありません。

そうした時代を生きていく子どもたちに必要な学びとはどんなものか、私たちも日々模索し、試行錯誤を重ねています。動揺するばかりではいけませんが、この変化をむしろ愉しむという心構えで、子どもたちと共に学んで参ります。とりわけ大切なのは、やみくもに「新しい何か」に取り組みねばと焦るのではなく、日々起きている変化そのものから目を背けず、それ自体を学びの材として果敢に取り上げていくことだと考えます。目の前の現実から学ぶことを大切に、しかし足元だけに拘泥せず、5年先、10年先へと想像力を働かせることのできる学びこそ、桜台小学校が目指すものです。

保護者の皆さま、地域の皆さまにもぜひ、変化の時代と向き合う、この学びの輪に加わっていただけますと幸いです。そうした機会を設けていくことも、本校の大きな目標です。

新入生の保護者の皆さま、ご入学おめでとうございます。小学校での6年間は、お子さまにとっても、ご家族の皆さまにとっても、本当に大切な時間です。その先の人生の土台となる力をしっかりと身に付けていくことができるよう、皆さまと力を合わせて、子どもたちの心と身体を育てていきたいと思っております。そのためにも、どうぞお気軽に学校にお越しください。また声をお聞かせください。よろしくお願ひいたします。